



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2005, 83(5): 697-698

ISSUE DATE:

2005-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110139>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成17年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第83巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.83 no.5

物性研究

2005 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集部より

2005 年度「物性研究」会費納入について

2005 年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 84 No.1 - 6 (2005 年 4 月号 ~ 9 月号)

Vol. 85 No.1 - 6 (10 月号 ~ 2006 年 3 月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、2005 年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額 9,600 円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は 2005 年 3 月末までをお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、2004 年度 (Vol. 83 No. 6 まで) で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

2004 年度の会費が未納の方 (封筒に未納額を記載) は、早急にお振込くださいますようお願いします。

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

最近、国内外の研究会に出席する機会が増えた。それは自分が良い研究をしているというよりも、21世紀COEや科研費などの各種プロジェクトがらみの研究会が増えたのが原因だと思う。それぞれ立派な研究会だとは思いますが、内容や出席者は似たりよったりだし、プレゼンテーションの準備やプロシーディングスの作成もあるため、全てに参加しては本業の研究が全く進まなくなる。また、国立大学独法化のあおりを受けてやたら資格をとらされたりして時間を奪われている。日本の研究者にあうと例外無く「かくかくしかじかで忙しい」という話になるので、余裕をもって、かつ集中して研究に打ち込むことは殆どの人にとって難しい時代になったのだろう。

このようにせわしい研究環境では、現在の研究とかなり異なる分野の講演会を聞くような時間的、精神的余裕がなくなる。しかし、これは大きな問題だと思う。既にある「森」を豊かにしていく研究も重要だが、何もないところに木を植え、水をやり、最終的に大きな「森」を造るような研究こそがより重要であり、真の独創的な研究といえるからだ。「森」を造るためには純血主義では駄目で、異分野の研究から知識を得たり、融合したりとすることが必要であろう。海外に目をやるとこんな例がある。私が以前留学していた米国の大学の化学教室では教授が毎週一回もちまわりで外から研究者を呼び、講演会が開かれていた。その講演会にはだいたい全ての教官が参加していた。また学生は出席が必須でそれが単位になるシステムであった。強制参加というやり方の是非はともかく、異分野（化学といっても無機化学、有機化学、生物化学、と千差万別である）の知識を得るには絶好の機会であると思う。

さて本誌では「化学からみた物性物理」というシリーズで、化学寄りの研究者からの原稿を数号に一回の割合（不定期）で掲載している。本誌の読者は物理寄りの人が殆どであると思われるが、このシリーズが異分野コミュニケーションの良い場所となってくれば喜びである。研究分野としての化学と物理の違い（外見の違い）だけではなく、化学屋と物理屋の物事に対する取り組み方（思考回路）の違いも感じていただけるのではないだろうか。

（直交ダイマー）

[物性研究]

編集長

武末 真二 (京大・理・物理)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (東工大・理工・物性物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
関本 謙 (レイパスツール大・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 83 卷第 5 号 (平成 17 年 2 月号) 2005 年 2 月 20 日 発行

発行人 武 末 真 二

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

武末 真二 (京大・理・物理)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
太田 隆夫 (京大・基研)
常次 宏一 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
内田 就也 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
笹本 智弘 (東工大・理工・物性物理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
関本 謙 (レイパスツール大・物理)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 83 卷第 5 号 (平成 17 年 2 月号) 2005 年 2 月 20 日 発行

発行人 武 末 真 二

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **01010-6-5312**

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 83-5 (2月号) 目 次

○講義ノート

「第49回 物性若手夏の学校 (2004年度)」 569

○編集部より

2005年度「物性研究」会費納入について 697

○編集後記 698

物 性 研 究 83-5 (2月号) 目 次

○講義ノート

「第49回 物性若手夏の学校 (2004年度)」 569

○編集部より

2005年度「物性研究」会費納入について 697

○編集後記 698